

咳き

何を殺したいのか、この俺は
誰に向って咳くのか、吐き棄てるように
「ふん、殺しちまえよ」と

他人を殺して何になる　俺は変わりはない
己を殺して何になる　恥辱が不滅となるだけ
俺が殺したいのは人間じゃない

俺が殺したいのは記憶だ
恥辱に満ちたろくでもない過去だ
嘲るように目の前を過ぎってゆく彼奴だ

彼奴の姿をちらりとでも見ると
途端に俺は頭を抱えて咳く
「ふん、殺しちまえ」と

(1982.8.5)